

小中校生時代の壮絶ないじめ

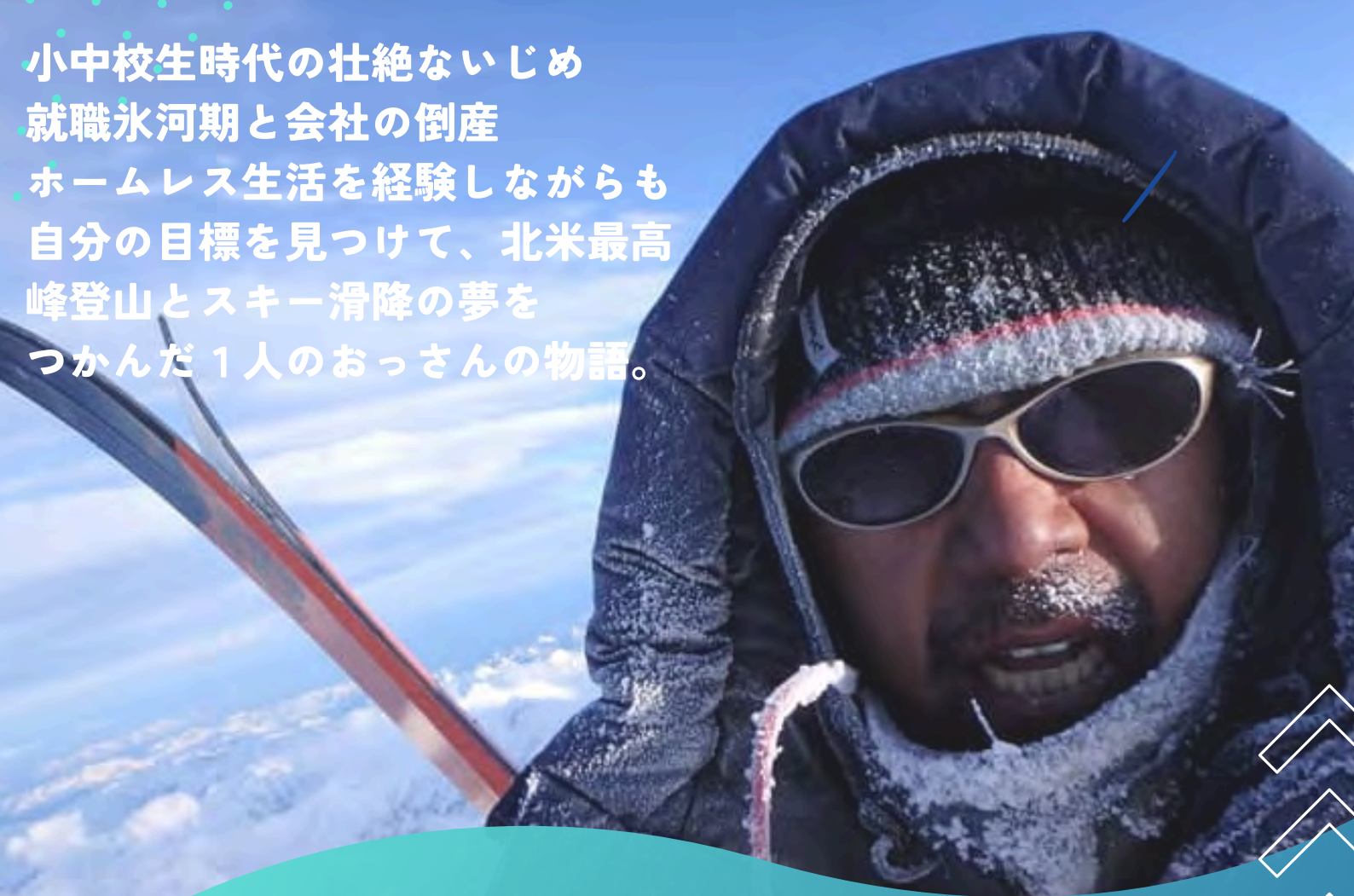
就職氷河期と会社の倒産

ホームレス生活を経験しながらも

自分の目標を見つけて、北米最高

峰登山とスキー滑降の夢を

つかんだ1人のおっさんの物語。



豊かに生きる「心の予防注射」講演会

“大丈夫君の未来はきっと明るい”

3/15 土

13:00-15:00

Tree HALL

(日野市多摩平3-1-1 Tomorrow PLAZA 2F)

定員50名 (先着順)

対象：小学生・中学生・高校生
保護者・教育関係者
その他、関心のある人誰でも

参加費

~高校生まで : 無料

大学生世代以上 : 500円

※当日現金支払いです。

申込み方法

下記の申し込みフォーム (QRコード)
よりお申込みください。

お問い合わせ

042-582-3136

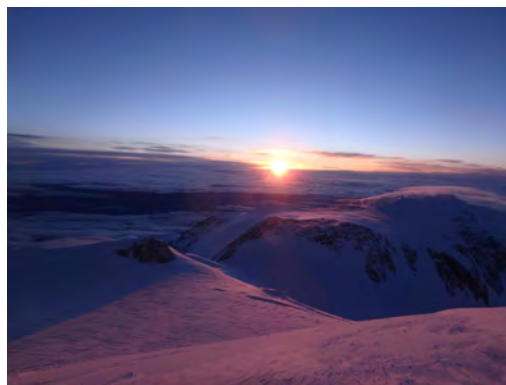


主催：公益財団法人社会教育協会 ひの社会教育センター

後援：日野市教育委員会

小学生の時に壮絶ないじめに遭い、心に傷を負い落ちこぼれ、バブル経済が過ぎ去り就職氷河期突入した時代から、完全に社会から爪弾きにされた中年が、ふとしたキッカケで、人間としての誇りと人生の忘れ物を海外の砂漠、大河、高山などの原野に取り返しに行く。

そしてついに夢をつかんだストーリーを中心に、辛い状況からの心の回復力（レジリエンス）のヒントを実体験から語りかけます。いま、全ての子どもたちや子どもに関わる大人に聞いてもらいたい、そんな話。



講師：安田順治
(やすだ・じゅんじ)

小学生の時壮絶なイジメに遭い、引き込みりぎみの完全な落ちこぼれになる。超就職氷河期、外れクジ的なブラック企業を転々とし激務を10数年間こなすも、過労とストレスで大量下血し緊急入院。復職も会社は倒産しホームレスになる。

たまたま駅のチラシで見た富士山登山ツアーに何となく参加し、そこで見た富士山御来光に涙が止まらなかった。この体験を機に、憧れである植村直己さんの眠るアラスカ北米最高峰のデナリ山頂（旧マッキンリー山：6,910m）からのスノーボード滑降を目標に雪山登山を始め、数々の困難に打ち勝ち、40歳を過ぎた時、満を持して海外に遠征へ。

自分のような落ちこぼれ達の足元を照らし自信を取り戻すための誘導灯になるべく只今伴走中。

Keyword “レジリエンス”

心理学の領域では「逆境に負けない力・立ち直る力」のこと。近年、世界の教育現場では、レジリエンスを育て、生きる力を育む「レジリエンス教育」が進められています。

【Access】

JR中央線「豊田駅」北口より徒歩約9分。

- ・市内循環バス（市立病院経由）「市立病院前」バス停下車
- ・「京王八王子駅」～「豊田駅」（市立病院経由）「市立病院前」バス停下車

申込フォームはコチラ→

